

【対象モデル】

- 車内置き去り防止安全装置(緊急通報付) BS-700M
- 車内置き去り防止安全装置(AIカメラ付) BS-700C
- 車内置き去り防止安全装置(車内音声付) BS-700V
- 車内置き去り防止安全装置 BS-700S
- 車内置き去り防止安全装置(降車時確認式/緊急通報付) BS-350KM
- 車内置き去り防止安全装置(降車時確認式/車内音声付) BS-350KV
- 車内置き去り防止安全装置(降車時確認式) BS-350K
- 車内置き去り防止安全装置(自動検知式) BS-350J

取付店用

取付店の方は、必ず内容をご熟読ください。

ホーネット車内置き去り防止安全装置は、お客様のニーズに対応できる機能設定項目が用意されています。お客様のご要望に合わせて機能設定変更してください。

機能設定変更には、取り付けも伴いますので必ず取付店様が行ってください。設定変更により車内置き去り防止安全装置が正常に動作しなくなる場合がありますので十分注意してください。また、設定変更には、管理用リモコン(赤)が必要です。管理者に確認の上、ご準備ください。



危険

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。



注意

取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。



禁止

禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。



ヒント

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、製品を扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることで部品の寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明しています。



強制

強制・制約・指示等を表す記号

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

■製造発売元

KATO-DENKI

加藤電機株式会社 〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

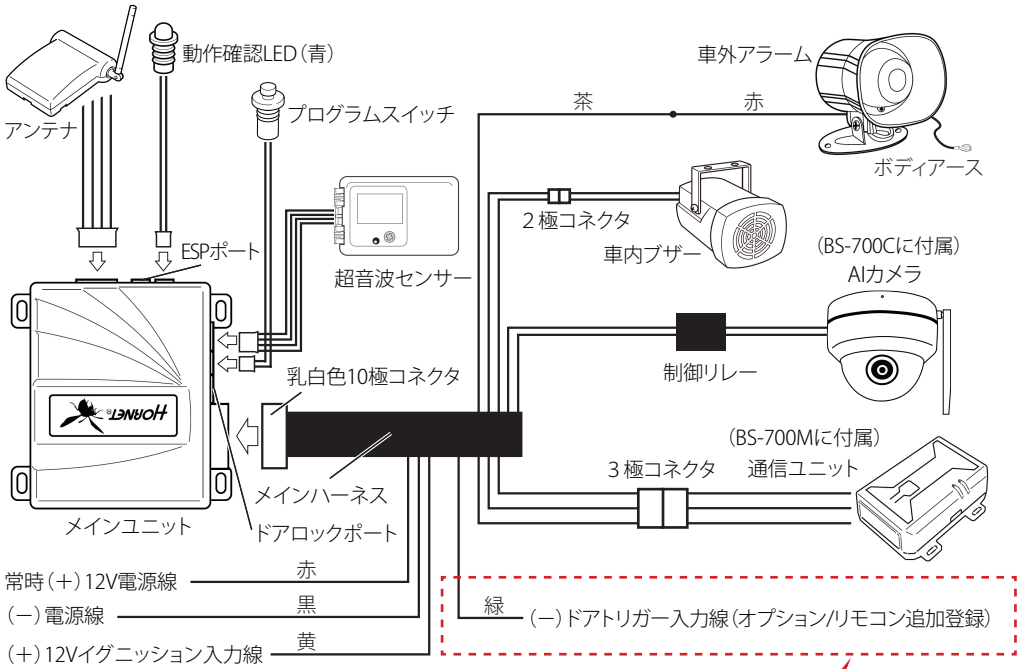
※本書に記載されている内容は2023年5月1日現在のものです。

機能設定変更のための追加取り付け

機能設定変更を行うには、安全装置のメインハーネスの緑線を接続する必要があります。下図を参考に接続してください。

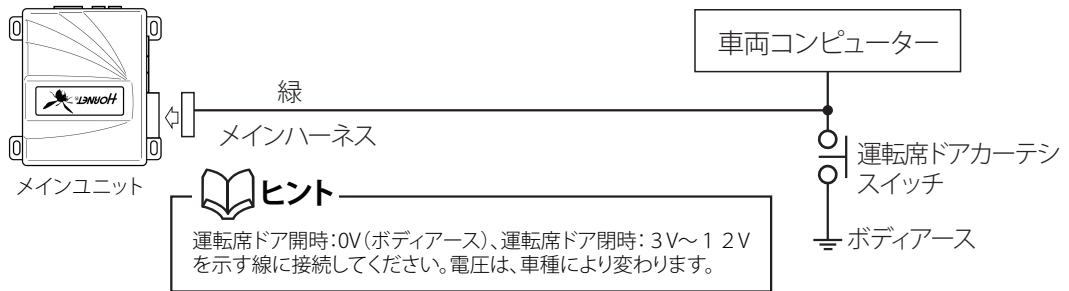
接続全体図例：BS-700S

※関連しない配線は、省略してあります。



メインハーネス緑線の接続をします。

ホーネット車内置き去り防止安全装置のメインハーネスの緑線を運転席ドアカーテシスイッチに接続してください。



！ 強制

機能設定変更が完了しましたら、メインハーネスの緑線の接続を外して絶縁処理してください。接続したままの場合、運転者が車両に乗車する際に車外アラームが鳴ります。

メニュー 1 機能設定方法

この項目以外を変更すると車内置き去り安全装置のガイドラインに適合しなくなりますので注意してください。



車内ブザーを止める場合は、管理用リモコン(赤)のブザー停止ボタンを押して止めてください。

- 1 ドアを開けます。
- 2 5秒以内にイグニッションON/OFFします。
- 3 動作確認LED付プログラムスイッチ(以下スイッチ)を1回押した後、2回目を押し続けます。
- 4 確認音が「ピッ」と1回鳴り、メニュー1が選択されたらスイッチを離します。
- 5 5秒以内に變更したい設定項目番号分の11回(例:項目番号11)スイッチを押した後、12回目を押し続けます。
- 6 確認音「ピッ×11回」が鳴り、設定項目11が選択されます。スイッチは押し続けてください。
- 7 ****** ボタン押す度に確認音が鳴り、1分/確認音ピッ×2回)/10分(確認音ピッ×3回)/15分(確認音ピッ×4回)が選択されます。
- 8 ****** ボタンを押し、「10分」(確認音ピッ×3回)を選択します。(例:「10分」の場合)
- 9 スwitchを離し、ドアを閉めるか、15秒経過すると確認音(ピュー)が鳴り設定完了です。

メニュー 1 ※ __ 下線がある項目が初期設定です。

項目番号	設定項目	確認音	 ボタン 確認音「ピッ」	** ボタン 確認音「ピッピッ」→「ピッ×3回」 →「ピッ×4回」→「ピッ×5回」
1	クリックトーン	ピッ×1回	<u>ON</u>	OFF
2	車外アラーム鳴動時間	ピッ×2回	<u>30秒</u>	10秒/60秒/180秒/ラッチ
3	イグニッション入力	ピッ×3回	センサー	<u>シャント+システムOFF</u> /シャント
4	車内センサー作動条件	ピッ×4回	<u>ON</u> (エンジン停止)	ON(エンジン停止+ドア開閉)/OFF
5	ドアトリガーエラー音	ピッ×5回	<u>ON</u>	OFF
6	センサーエラー音	ピッ×6回	<u>ON</u>	OFF
7	迷惑防止機能(NPC)	ピッ×7回	ON	<u>OFF</u>
8	未確認検知センサー	ピッ×8回	OFF	<u>ON</u>
9	ノイズリダクション	ピッ×9回	<u>ON</u>	OFF
10	チャンネル出力中センサー	ピッ×10回	<u>シャントOFF</u>	シャントON
11	車内センサー開始時間	ピッ×11回	<u>5分</u>	1分/10分/15分
12	強制解除スイッチ 入力回数	ピッ×12回	<u>1回</u>	2回/3回/4回/5回

※BS-350Jは、項目番号8の未確認検知センサーは初期設定OFFになっています。

メニュー 1 の機能設定項目について

1: クリックトーン

車内センサーの作動/解除の時に鳴る確認音の設定ができます。OFF設定で鳴らなくなります。

2: 車外アラーム鳴動時間

車内センサーが検知した時に鳴る車内アラームの時間を変更できます。

3: イグニッション入力

センサー: 車内センサー作動中にエンジン始動 (IGON) を検知して車外アラームを鳴らします。

シャント+システムOFF: エンジン始動 (IGON) によりすべてのシステムを解除します。

シャント: 車内センサー作動中にエンジン始動 (IGON) すると車内センサーをキャンセルします。

4: 車内センサー作動条件

ON (エンジン停止): エンジン停止してから項目番号11で設定した時間経過後に車内センサーが作動します。

ON (エンジン停止+ドア開閉): エンジン停止して運転席ドアの開閉してから項目番号11で設定した時間経過後に車内センサーが作動します。

5: ドアトリガーエラー音

運転席ドアが開いている状態で車内センサーが作動した時に、「ピッ」確認音を鳴らすかどうかの設定ができます。

ON=確認音あり、OFF=確認音なし

6: センサーエラー音

車内センサーが検知している状態で車内センサーが作動した時に、「ピッ」確認音を鳴らすかどうか設定ができます。

ON=確認音あり、OFF=確認音なし

7: 迷惑防止機能 (NPC)

車内センサーが検知できる数を制限するか設定できます。

ON: 超音波センサー、2段階衝撃センサーは、最大3回まで検知することができます。4回目は、キャンセルします。

1時間経過するとリセットされ最大3回まで検知することができます。

OFF: 車内センサーの検知制限はありません。

8: 未確認検知センサー

未確認検知センサーの設定変更ができます。

ON: エンジン停止後5分以内に車内ブザーが止まっていない場合、未確認検知センサーが未確認を検知して車外アラームを30秒間鳴らします。ブザー停止ボタンを押すまで5分ごとに車外アラームを30秒間鳴らし続けます。

OFF: エンジン停止後5分以内に車内ブザーが止まっていなくても車外アラームは鳴りません。

△注意: 降車時確認式で安全装置をご利用される場合は、必ずONでご利用ください。

9: ノイズリダクション

2段階衝撃センサーの検知レベルを変更できます。

ON: トラック等の振動ノイズやバイクのバックファイアーなどをキャンセルしやすくなります。

OFF: トラック等の振動ノイズやバイクのバックファイアーなどをキャンセルしません。

10: チャンネル出力中センサー

エンジン停止してから60分間AIカメラが作動します。その60分間に車内センサーの検知の有無を設定できます。

シャントOFF: AIカメラ作動中も車内センサーは検知します。

シャントON: AIカメラ作動中は、車内センサーは検知しません。

11: 車内センサー開始時間

自動検知式による車内センサーおよび未確認検知センサーの検知開始時間の設定変更ができます。

5分: エンジン停止してから5分後に車内センサーが作動します。

1分: エンジン停止してから1分後に車内センサーが作動します。

10分: エンジン停止してから10分後に車内センサーが作動します。

15分: エンジン停止してから15分後に車内センサーがに作動します。



注意

メニュー 2 の項目番号 8 の車内ブザー鳴動開始遅延時間よりも長い時間に設定してください。

12: 強制解除スイッチ入力回数

車内センサーを強制的に解除する時に押す、プログラムスイッチの回数を変更できます。

△注意: 項目番号 3 のイグニッション入力がセンサーもしくはシャントを設定している場合にご利用いただけます。

メニュー 2 機能設定

の項目以外を変更すると車内置き去り安全装置のガイドラインに適合しなくなりますので注意してください。



ヒント

車内ブザーを止める場合は、管理用リモコン(赤)のブザー停止ボタンを押して止めてください。

- 1 ドアを開けます。
- 2 5秒以内にイグニッションON/OFFします。
- 3 動作確認LED付プログラムスイッチ(以下スイッチ)を1回押した後、2回目を押し続けます。
- 4 確認音が“ピッ”と1回鳴り、続けて“ピッピッ”と2回鳴りメニュー2が選択されたらスイッチを離します。
- 5 5秒以内に変更したい設定項目番号分の3回(例:項目番号3)スイッチを押した後、4回目を押し続けます。
- 6 確認音“ピッ×3回”が鳴り、設定項目3が選択されます。スイッチは押し続けてください。
- 7 ****** ボタン押す度に、青線入力(確認音ピッ×7回)/1分(確認音ピッ×2回)/5分(確認音ピッ×3回)/1.5分(確認音ピッ×4回)/30分(確認音ピッ×5回)/60分(確認音ピッ×6回)が選択されます。
- 8 ****** ボタンを押し、「30分」(確認音ピッ×5回)を選択します。(例:「30分」の場合)
- 9 スwitchを離し、ドアを閉めるか、15秒経過すると確認音(ピュー)が鳴り設定完了です。

メニュー 2 ※ 下線がある項目が初期設定です。

項目番号	設定項目	確認音	ボタン 確認音“ピッ”	** ボタン 確認音“ピッピッ”→“ピッ×3回” →“ピッ×4回”→“ピッ×5回” →“ピッ×6回”→“ピッ×7回”
1	チャンネル2タイプ	ピッ×1回	ボタン押し中 (最大25秒)	<u>ラッチ/ラッチ</u> (パルス0.5秒間隔) /リズムA/リズムB
2	チャンネル2リンク	ピッ×2回	なし	<u>エンジン停止</u> /センサー作動/ センサー解除/車外アラーム鳴動/警告
3	AIカメラ作動時間	ピッ×3回	なし	1分/5分/15分/30分/60分 / <u>青線入力</u>
4	チャンネル2出力開始 遅延時間	ピッ×4回	なし	5秒/15秒/30秒/180秒 / <u>5分/10分/15分</u>
5	車内ブザー鳴動タイプ	ピッ×5回	ボタン押し中 (最大25秒)	<u>ラッチ/ラッチ</u> (パルス0.5秒間隔) /リズムA/リズムB/リズムC/リズムD
6	チャンネル3リンク	ピッ×6回	なし	<u>エンジン停止</u> /センサー作動/ センサー解除/車外アラーム鳴動/警告
7	チャンネル3リセット	ピッ×7回	なし	1分/5分/15分/30分/60分 / <u>青線入力</u>
8	車内ブザー鳴動開始遅延 時間	ピッ×8回	なし	5秒/15秒/30秒/3分/5分 / <u>10分/15分</u>
9	チャンネル2ボタン設定	ピッ×9回	出力と停止	<u>出力のみ</u> /停止のみ
10	チャンネル3ボタン設定	ピッ×10回	出力と停止	<u>出力のみ</u> /停止のみ

メニュー2の機能設定項目について

1:チャンネル2タイプ

チャンネル2の信号出力方法を変更できます。車内置き去り防止安全装置では使用しません。

2:チャンネル2リンク

チャンネル2の作動条件を設定できます。車内置き去り防止安全装置では使用しません。

3:AIカメラ作動時間

エンジン停止後に作動するAIカメラの時間を設定できます。



注意

30分もしくは60分以上以外に設定変更しないでください。AIカメラが正常に動作しなくなります。

4:チャンネル2出力開始遅延時間

チャンネル2の信号出力を開始する時間を遅延できます。車内置き去り防止安全装置では使用しません。

5:車内ブザー鳴動タイプ

降車時確認式の時に鳴る車内ブザーの鳴動タイプを選択できます。



注意

ボタン押し中(最大25秒)には、設定しないでください。車内ブザーが鳴らなくなりますので注意してください。

6:チャンネル3リンク

チャンネル3の作動条件を設定できます。車内置き去り防止安全装置では使用しません。

7:チャンネル3リセット

チャンネル3のリセット方法を選択できます。車内置き去り防止安全装置では使用しません。

8:車内ブザー鳴動開始遅延時間

エンジン停止してから車内ブザーが鳴るまでの時間を設定できます。

5秒:エンジン停止してから5秒後に車内ブザーが鳴り始めます。

15秒:エンジン停止してから15秒後に車内ブザーが鳴り始めます。

30秒:エンジン停止してから30秒後に車内ブザーが鳴り始めます。

3分:エンジン停止してから3分後に車内ブザーが鳴り始めます。

5分:エンジン停止してから5分後に車内ブザーが鳴り始めます。

10分:エンジン停止してから10分後に車内ブザーが鳴り始めます。

15分:エンジン停止してから15分後に車内ブザーが鳴り始めます。



注意

メニュー1の項目番号11の車内センサー開始時間よりも短い時間に設定してください。

9:チャンネル2ボタン設定

チャンネル2の操作設定ができます。車内置き去り防止安全装置では使用しません。

10:チャンネル3ボタン設定

チャンネル3の操作設定ができます。車内置き去り防止安全装置では使用しません。



注意

の項目以外を変更すると車内置き去り安全装置のガイドラインに適合しなくなる場合がありますので注意してください。



強制

機能設定変更が完了しましたら、メインハーネスの緑線の接続を外して絶縁処理してください。
接続したままの場合、運転者が車両に乗車する際に車外アラームが鳴ります。

メモ

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.

メモ

MEMO

A series of horizontal dashed lines for writing.